



2016年度（2017年2月期）第3四半期 (2016.3.1~2016.11.30)決算説明会



イオンモール株式会社
(東証1部:8905)

2017年1月11日



2016年度第3四半期 決算概要

第3四半期トピック	P 3
連結業績概要	P 4
海外事業 モール別営業総利益	P 5
海外事業 既存モール専門店売上前期比	P 6
2016年度 海外新規モール	P 7
国内既存モール 専門店売上前期比	P 8
モール月次データ（既存68モール前期比）	P 9
モール専門店売上 業種別前期比（既存68モール前期比）	P 10
新たな販促企画	P 11
2016年度 国内既存モールリニューアル	P 12-15
2016年度 国内新規モール	P 16-17
2016年3月1日に子会社化した(株)OPAが展開するファッションビル事業の収益拡充	P 18
損益増減明細	P 19
損益計算書（要約）	P 20
貸借対照表（要約）	P 21
キャッシュ・フロー計算書（要約）	P 22
先進的なモール開発	P 23
ダイバーシティ経営の推進	P 24
業績計画（連結）	P 25-26

今後の出店計画

国内事業 出店計画	P 28
海外事業 中国（北京・天津、江蘇・浙江エリア）出店計画	P 29
海外事業 中国（湖北エリア、広東エリア）出店計画	P 30
海外事業 アセアン出店計画	P 31-33

添付資料（モールデータ）

モール一覧	P 36-37
都市型ファッションビル（株式会社OPA）	P 38

2016年度第3四半期 決算概要

増収増益。経常利益は前期比+7.3%で過去最高益。

<第3四半期トピック>

- ◆ 海外事業は19モール体制となり、第2四半期より利益改善が進み、第3四半期累計で766百万円の営業利益改善。
- ◆ 国内の既存店売上は、積極的な既存モールの活性化や、ブラックフライデー等の新たなセール効果があり、第3四半期（3ヶ月）では前年超え（曜日調整後）。
- ◆ 3月1日に子会社化した都市型ファッションビル事業を営む(株)OPAは、ファッション中心からファッションナブルなライフスタイルを提案するビジネスモデルへの変革を進めるため、既存店の活性化、スクラップ&ビルド、新規出店を推進。

連結業績概要

営業収益、経常利益は過去最高を更新

（単位：百万円、％）

	2016年度 第3四半期 実績	2015年度 第3四半期 実績	前期比		2016年度 計画
			増減	%	
営業収益	198,403	167,704	30,699	118.3	280,000
営業原価	149,152	120,848	28,304	123.4	-
営業総利益	49,250	46,856	2,394	105.1	-
販管費	19,356	17,025	2,331	113.7	-
営業利益	29,893	29,830	63	100.2	46,500
経常利益	30,153	28,109	2,043	107.3	45,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16,572	14,944	1,627	110.9	27,000
1株当たり 四半期純利益（円）	72.88	65.58	-	-	118.75

○国内事業

既存68モール(※1)専門店売上 前期比98.9%
 営業収益前期比 +22,453百万円（前期比114.3%）
 営業総利益前期比 +1,889百万円（前期比103.9%）
 営業利益前期比 ▲709百万円（前期比97.9%）

○中国事業

既存モール(※2)専門店売上 前期比112.4%
 営業収益前期比 +5,997百万円（前期比176.9%）
 営業総利益前期比 +222百万円
 営業利益前期比 +317百万円

○アセアン事業

ベトナム 既存2モール専門店売上 前期比117.4%
 カンボジア 既存1モール専門店売上 前期比120.7%
 営業収益前期比 +2,248百万円（前期比185.9%）
 営業総利益前期比 +276百万円
 営業利益前期比 +448百万円

（単位：百万円）

	オープン数 ※1	モール数 (2016年11月30日現在)	総資産	
国内	3	145 ※2	1,036,670	自己資本
中国	1	13	318,320	自己資本比率（％）
カンボジア	0	1	30.7	D/Eレシオ（倍）
ベトナム	1	4	1.3	ネットD/Eレシオ（倍）
インドネシア	0	1	1.2	EBITDA
モール計	5	164	58,376	
都市型ファッションビル(OPA)	-	21		

※1 2016年3月1日から2016年11月30日までにオープンしたモール数
 ※2 イオンリテール(株)の大型商業施設71の管理・運営業務を受託
 (2016年5月2日オープンのイオンモール出雲の管理・運営業務を追加受託)

※1 既存モールは、イオンリテール(株)からの管理・運営受託物件を除く。
 ※2 前年度実績のあるモールで算出。2016年1月～5月は4モール、2016年6月～8月は5モール、2016年9月は6モール。（2015年8月～12月に営業休止していたイオンモール天津TEDAは除く）

海外事業 モール別営業総利益

エリア 店舗ベース利益	中国	アセアン
黒字化達成	5モール 北京国際商城、蘇州園区湖東、 杭州良渚新城、武漢經開、蘇州新区	3モール タンフーセラドン、 プノンペン、BSD CITY
赤字額 ▲30百万円以下	2モール 天津中北、武漢金銀潭	-
赤字額 ▲30百万円超	5モール 天津TEDA、天津梅江、蘇州吳中、 北京豊台、広州番禺広場	2モール ビンズオンキャナリー、ロンビエン

2016年度第3四半期において、中国5モール、アセアン3モールが黒字化を達成。中国では2モールが若干の赤字ながらも今期中に黒字達成を見込む。

海外事業 既存モール専門店売上前期比

中国事業 既存モール前期比

中国	2015年 1月-12月 (累計)	2016年 1月-9月 (累計)
専門店売上 ※	124.9%	112.4%
来店客数 ※	110.8%	105.4%

※前年度実績のあるモールで算出。2016年1月～5月は4モール、2016年6月～8月は5モール、2016年9月は6モール。（2015年8月～12月に営業休止していたイオンモール天津TEDAは除く）

アセアン事業 既存モール前期比

ベトナム	2015年 1月-12月 (累計)	2016年 1月-9月 (累計)
専門店売上	112.6%	117.4%
来店客数	98.8%	110.5%

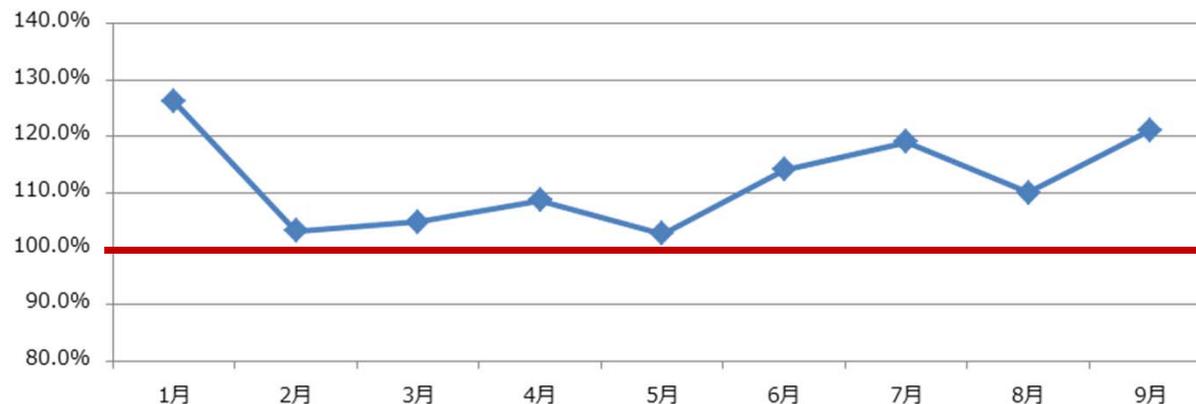
※2015年1月～12月は1モール、2016年1月～9月は2モールで算出。

カンボジア	2016年 1月-9月 (累計)
専門店売上	120.7%
来店客数	120.7%

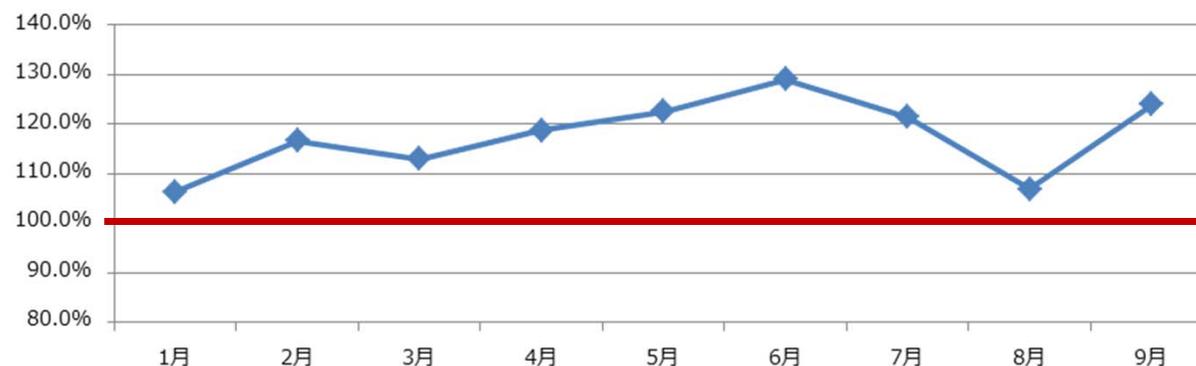
※イオンモール プノンペンの1モールで算出。

中国既存モール 専門店売上前期比（単月）

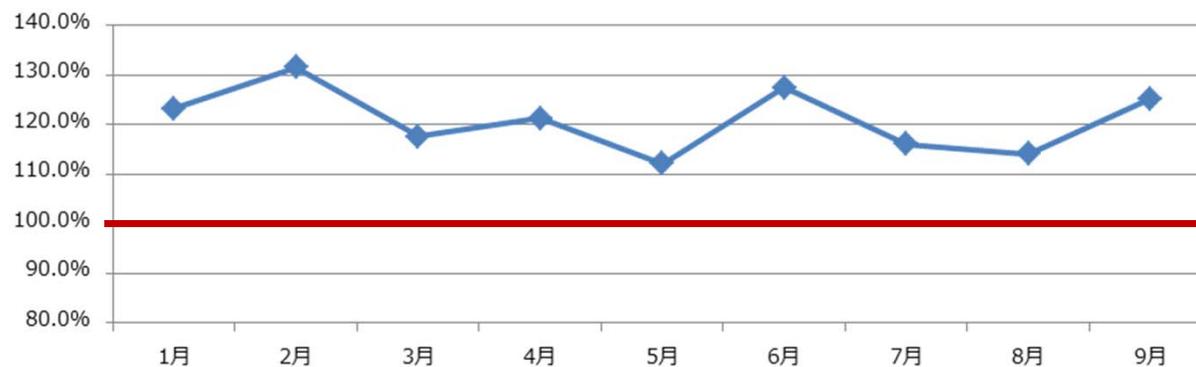
※海外現地法人の決算期末は12月末。



ベトナム既存モール 専門店売上前期比（単月）



カンボジア既存モール 専門店売上前期比（単月）



2016年度 海外新規モール

イオンモール ビンタン（ホーチミン市）



オープン日：2016年7月1日
 敷地面積： 46,800㎡
 総賃貸面積： 60,000㎡
 駐車台数：車 1,500台
 バイク 4,000台
 専門店数： 160店舗

施設の特徴

- ▶ホーチミン市中心部から南西約10kmの「インターナショナル ハイテク ヘル スクエア パーク」に位置。周辺は宅地開発による人口増加が見込まれ、交通アクセスも良好なことから広域集客が期待できるエリア。
- ▶ホーチミン最大級となる飲食ゾーンをフロアごとに展開する他、シネマやファミリーカラオケ等、ファミリーで楽しめる総合エンターテインメントを展開。

イオンモール河北燕郊（河北省三河市）



オープン日：2016年11月5日
 敷地面積： 87,000㎡
 総賃貸面積： 70,000㎡
 駐車台数： 3,000台
 専門店数： 200店舗



施設の特徴

- ▶北京市中心部から東へ約40km、北京市のベッドタウンとして宅地開発が進む燕郊経済技術開発区内に出店。
- ▶テナントは燕郊エリア初出店90店舗を含む200店舗で構成。



地下1階モール部分では、中国の伝統的料理を手軽に楽しめる食のコンセプトゾーンを18店舗で展開する他、テラス席や大型吹き抜けを5ヶ所設置し、開放感を向上。

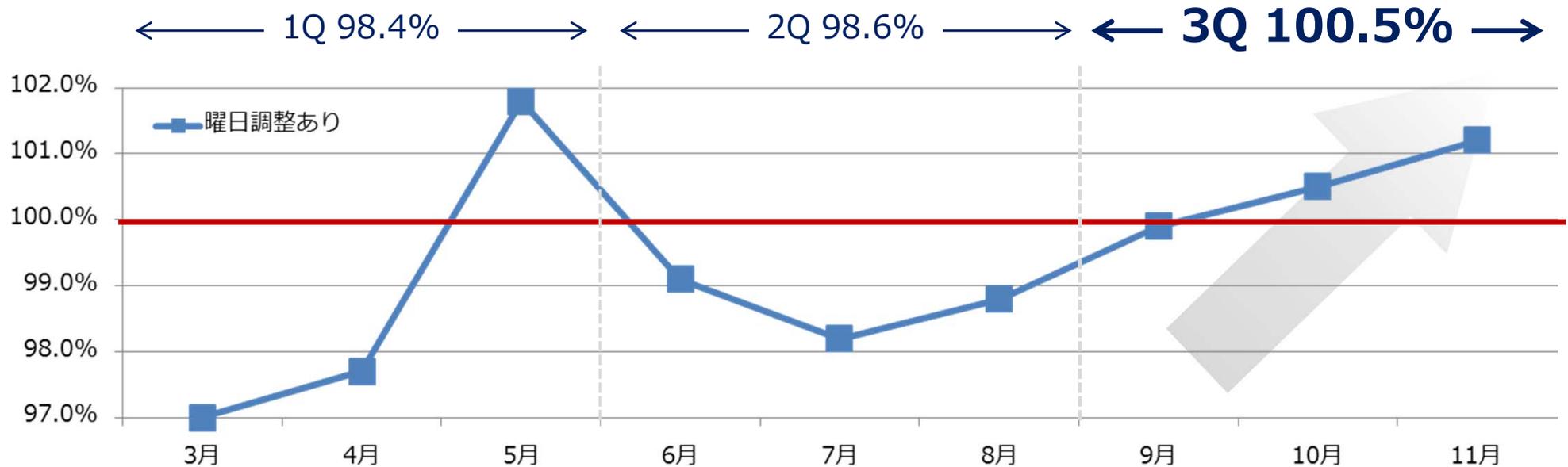


キッズゾーンでは、物販だけでなく体験型施設を複数導入する等、エリア最大級となる約4,500㎡でキッズアミューズメントを展開。

国内既存モール 専門店売上前期比

	1Q	2Q	上半期	9月	10月	11月	3Q	3Q累計
曜日調整前	98.4%	98.6%	98.5%	97.4%	103.0%	98.7%	99.7%	98.9%
曜日調整 ↓	±0日	+1日	+1日	▲1日	+1日	▲1日	▲1日	±0日
曜日調整後	98.4%	98.6%	98.5%	99.9%	100.5%	101.2%	100.5%	99.2%
熊本影響を除外 ※ ↓								
熊本影響 控除後	99.5%	99.8%	99.6%	100.5%	101.2%	101.9%	101.2%	100.3%

※熊本地震の影響で営業を休止していたイオンモール熊本、イオンモール宇城を除く。



第3四半期より、実力ベース（曜日調整後）では前期を上回るトレンドに回復

モール月次データ（既存68モール前期比）

専門店売上	2015年度	2016年度							
		1Q	2Q	上期	3Q			3Q累計	
					9月	10月	11月		
曜日調整後 ※	98.3%	98.4%	98.6%	98.5%	99.9%	100.5%	101.2%	100.5%	99.2%
土日祝数	±0	±0	±0	±0	▲ 1	+1	▲ 1	▲ 1	▲ 1
曜日調整前 ※	98.3%	98.4%	98.6%	98.5%	97.4%	103.0%	98.7%	99.7%	98.9%

専門店売上 (熊本影響控除後)	2015年度	2016年度							
		1Q	2Q	上期	3Q			3Q累計	
					9月	10月	11月		
曜日調整後 ※	98.3%	99.5%	99.8%	99.6%	100.5%	101.2%	101.9%	101.2%	100.3%
土日祝数	±0	±0	±0	±0	▲ 1	+1	▲ 1	▲ 1	▲ 1
曜日調整前 ※	98.3%	99.5%	99.8%	99.6%	98.0%	103.7%	99.4%	100.4%	100.0%

※熊本地震の影響で営業を休止していたイオンモール熊本、イオンモール宇城を除く。

	2015年度	2016年度							
		1Q	2Q	上期	3Q			3Q累計	
					9月	10月	11月		
レジ客昨対 ※	97.2%	97.0%	98.2%	97.6%	101.9%	105.3%	99.8%	102.3%	99.1%
客単価昨対 ※	101.1%	101.5%	100.5%	101.0%	95.6%	97.8%	98.8%	97.4%	99.8%
駐車台数	100.0%	99.2%	99.7%	99.4%	103.0%	103.3%	101.1%	102.5%	100.4%
来店客数	98.5%	97.4%	98.6%	98.0%	99.8%	103.2%	99.3%	100.8%	98.9%

※GMS等、アンカーテナントの数値は含んでおりません。

※イオンモール寝屋川は、2016年8月31日をもって一旦営業を終了のため、既存68モールに含んでおりません。

モール専門店売上 業種別前期比（既存68モール前期比）

	2015年度	2016年度							
		1Q	2Q	上期	3Q			3Q累計	
					9月	10月	11月		
専門店合計	98.3%	98.4%	98.6%	98.5%	97.4%	103.0%	98.7%	99.7%	98.9%
大型専門店小計	97.0%	101.3%	100.8%	101.0%	99.1%	102.0%	99.7%	100.3%	100.8%
衣料品	96.4%	97.0%	96.4%	96.7%	87.6%	98.8%	98.4%	95.3%	96.2%
服装品	97.7%	95.5%	96.7%	96.1%	96.6%	101.6%	93.1%	97.0%	96.4%
雑貨	100.0%	100.8%	102.5%	101.7%	103.3%	105.5%	98.5%	102.3%	101.9%
飲食	100.1%	99.0%	99.9%	99.5%	100.9%	105.3%	98.5%	101.5%	100.1%
アミューズメント	100.5%	98.9%	96.8%	97.8%	125.1%	127.1%	109.1%	120.8%	104.0%
サービス	99.1%	97.9%	97.1%	97.5%	95.3%	100.4%	100.2%	98.5%	97.8%
中小専門店小計	98.4%	98.1%	98.4%	98.2%	97.2%	103.1%	98.5%	99.6%	98.7%

新たな販促企画

イオンブラックフライデー 衝撃の3日間

11月25日～11月27日の3日間、全国のイオンモールで実施



イオンブラックフライデーの実施にあわせ、WAON POINTのポイントバックキャンペーンや、カード買上額に応じてときめきポイント付与率がアップするキャンペーンを実施。



2016年度 国内既存モールリニューアル

モール名称	所在地	リニューアル日	テナント数	リニューアルテナント数
イオンモール広島府中【増床】	広島県安芸郡府中町	3月4日		66
		7月15日	280	32
		11月18日		112
イオンモール盛岡【増床】	岩手県盛岡市	3月4日	130	56
イオンモール神戸北	兵庫県神戸市	3月18日	160	58
イオンモール名取	宮城県名取市	3月18日	170	59
イオンモール水戸内原	茨城県水戸市	4月15日	200	61
イオンモール鶴見緑地	大阪府大阪市	4月22日	160	59
イオンモール秋田	秋田県秋田市	4月22日	150	103
イオンモール京都五条	京都府京都市	4月22日	140	91
イオンモール太田	群馬県太田市	4月22日	150	59
イオンモールつがる柏	青森県つがる市	4月22日	90	40
イオンモールKYOTO	京都府京都市	9月16日	130	107
イオンモール大和郡山	奈良県大和郡山市	9月16日	170	144
イオンモール新瑞橋	愛知県名古屋	10月28日	120	58
ならファミリー	奈良県奈良市	11月1日	120	55
イオンモール下田	青森県上北郡おいらせ町	11月18日	120	82
イオンモール浜松志登呂	静岡県浜松市	11月18日	160	38
イオンモール羽生	埼玉県羽生市	11月18日	210	17

イオンモール盛岡

2016年3月 増床リニューアル

【増床前】駐車場



【増床後】専門店ゾーン

2014年度 (実績)	2015年度 (実績)	2016年度 (計画)
8モール	12モール ※増床1モール含む	21モール ※増床2モール含む

【ご参考】当社が管理運営するイオンリテール(株)の71モール

2014年度 (実績)	2015年度 (実績)	2016年度 (計画)
17モール	14モール	10モール

2016年度 国内既存モールリニューアル

イオンモール広島府中

2016年11月18日 第3期 増床棟オープン

敷地面積：126,000㎡
 総賃貸面積：98,000㎡（+20,000㎡）
 駐車台数：5,000台（+700台）
 専門店数：280店舗（+80店舗）



中四国エリア最大規模のモールに進化

- 2015年7月 1Fサブ核ゾーンにおいて飲食ゾーン(ROJI Dining)を拡充。
- 2016年3月 専門店66店舗を入替えるリニューアル。
- 2016年7月 1F食物販ゾーン(GRAN TABLE)、3Fフードコート(FOOD PARK)導入。
- 2016年11月 増床棟オープン。新たに80店舗の専門店を導入。**

	新店	移転	改装	合計
第1期	22店舗	17店舗	27店舗	66店舗
第2期	20店舗	9店舗	3店舗	32店舗
第3期	82店舗	14店舗	16店舗	112店舗
合計	124店舗	40店舗	46店舗	210店舗

2016年度 国内既存モールリニューアル

飲食ゾーンの拡充

ROJI Dining (2015年7月)

1Fサブ核ゾーンに設置したフードコート13店舗、レストラン9店舗からなる一大「食」のゾーン。フードコート中央にはライブステージを配置。



食物販ゾーンの拡充

GRAN TABLE (2016年7月)

イオン広島府中店の1F食品ゾーンに隣接するエリアに19店舗からなる食物販ゾーンを導入。



2016年度 国内既存モールリニューアル

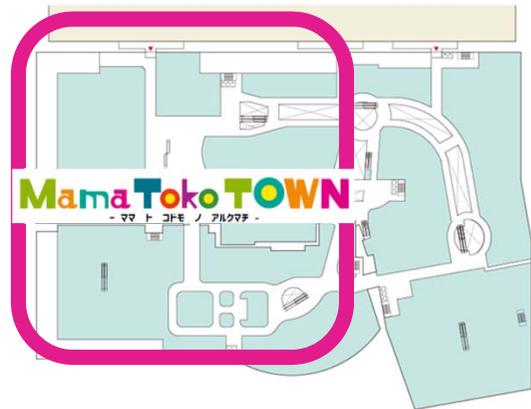
中四国エリア最大のキッズ集積

Mama Toko Town (ママトコタウン)

3階の約3分の2のエリアを巨大なキッズゾーンにリニューアル。新たにオープンするキッズリパブリックをはじめ、2期リニューアルでオープンしたFOOD PARKなど、60店舗で構成。



キッズリパブリック



Mama Toko テラス



キッズガーデン

FOOD PARK (2016年7月)

3Fフードコートを「ママのためのフードコート」をテーマに全面リニューアル。



ボーネルンド トット・ガーデン



ポポンデッタ

2016年度 国内新規モール

◆第3四半期までのオープンモール

イオンモール堺鉄砲町（大阪府堺市）



新規開設

オープン日：2016年3月19日
敷地面積：102,000㎡ 総賃貸面積：56,000㎡
駐車台数：2,600台 専門店数：160店舗

イオンモール今治新都市（愛媛県今治市）



新規開設

オープン日：2016年4月23日
敷地面積：122,000㎡ 総賃貸面積：54,000㎡
駐車台数：2,900台 専門店数：120店舗

イオンモール出雲（島根県出雲市）



PM受託

オープン日：2016年5月2日
敷地面積：45,000㎡ 総賃貸面積：32,000㎡
駐車台数：2,000台 専門店数：90店舗

◆第4四半期オープン予定のモール

カテプリ（北海道札幌市）

オープン日：2016年12月16日
敷地面積：27,300㎡（サンピアザSC全体）
総賃貸面積：13,200㎡（地下2階～地上3階）



イオン北海道株式会社が株式会社ダイエーから事業承継し、管理・運営を実施。今回、建物賃借にて当社が管理・運営を行い、大幅なテナント入替を行う。



既存施設の
マスターリース

三宮オーパ2（兵庫県神戸市）

オープン日：2017年春
敷地面積：約 4,700㎡
総賃貸面積：約 17,600㎡（2階～9階）

株式会社ダイエーが管理・運営する地下2階～地上9階の商業施設。2015年8月に地下2階から1階を、ダイエーの都市型戦略業態「フードスタイルストア」としてリニューアルオープン。今回、当社が2階から9階を賃借し、リニューアルを実施。

既存施設の
マスターリース

2016年度 国内新規モール

イオンモール長久手（愛知県長久手市）



新規開設

オープン日：2016年12月9日
敷地面積：46,000㎡ 総賃貸面積：59,000㎡
駐車台数：2,600台 専門店数：200店舗

施設の特徴

- 長久手市の南部「愛知高速交通東部丘陵線（リニモ）」の長久手古戦場駅北側で開発が進む長久手中央土地区画整理事業地内に出店。
- テナントは、新業態11店舗、東海初3店舗、愛知県初3店舗を含む200店舗で構成。
- 1F中央部の「Nagakute Marché」をはじめ、3Fフードコート、4Fレストランなど、全体の4分の1以上となる53店舗で一大「食」のゾーンを展開。

53店舗が集結する一大「食」のゾーン

モール環境



1F Nagakute Marché



3F Food Forest

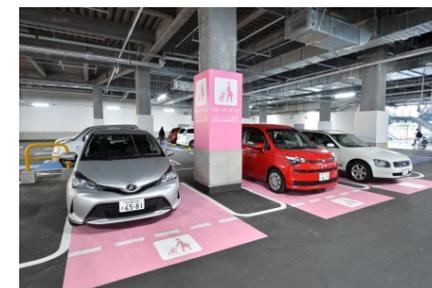


4F 星空レストラン

- 緑豊かな長久手市の景観に調和する建物デザインを採用。



- 女性専用パウダールーム、ベビーカー利用者の専用駐車スペース等の設置により、女性の利便性を向上。



2016年3月1日に子会社化した(株)OPAが展開するファッションビル事業の収益拡充

経営体質の強化

- ①新規出店
- ②既存店活性化
- ③スクラップ&ビルド



都市型ファッションビル事業の収益力強化

①新規出店

(仮称) 水戸オーパ (茨城県水戸市)



オープン日：2017年春
敷地面積：約 3,500㎡
総賃貸面積：約 12,500㎡

(仮称) 高崎オーパ (群馬県高崎市)



オープン日：2017年秋
敷地面積：約 7,400㎡
総賃貸面積：約 26,000㎡

②既存店活性化

心斎橋オーパ (大阪府大阪市) 2016年9月26日 B2Fリニューアルオープン



2014年から2017年までMD変更を含む抜本的改装を継続して実施

「ギャルファッションの館」



「レディス・ライフスタイルファッションの館」

従来の「衣」（ファッション）を中心としたシーンだけではなく、生活者を取り巻く「食」「住」「遊」「健」「美」「知」のさまざまなシーンの提案を実施。

③スクラップ&ビルド

大宮オーパ 2017年1月29日をもって閉店。
(埼玉県さいたま市)

大分フォーラス 2017年2月26日でいったん閉店。
(大分県大分市) 2019年春に「OPA」ブランドにて新規オープン予定。

秋田フォーラス 2017年2月でいったん休業し、
(秋田県秋田市) 2017年10月下旬に「OPA」ブランドにて再開予定。

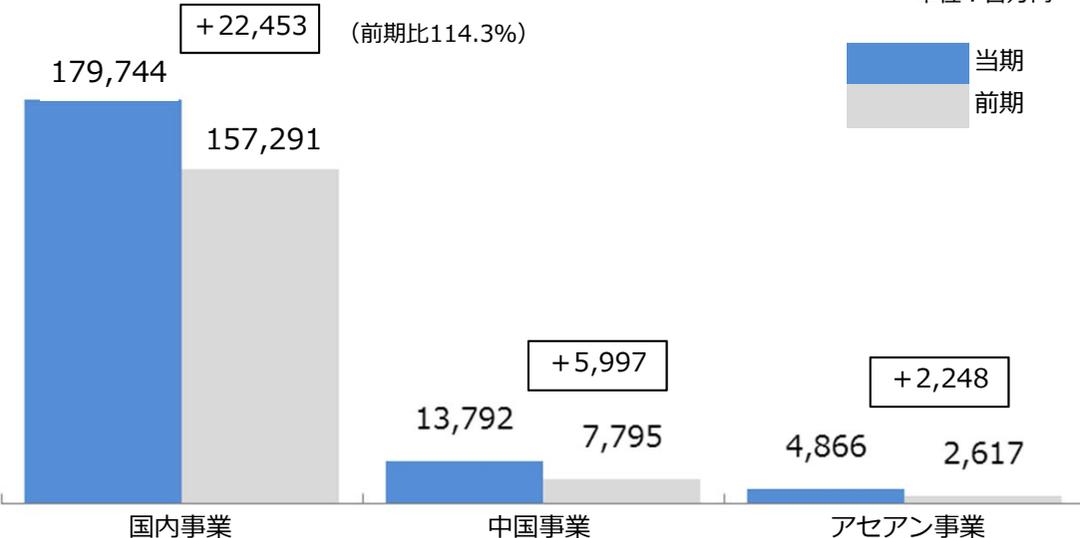


大分フォーラス

損益増減明細

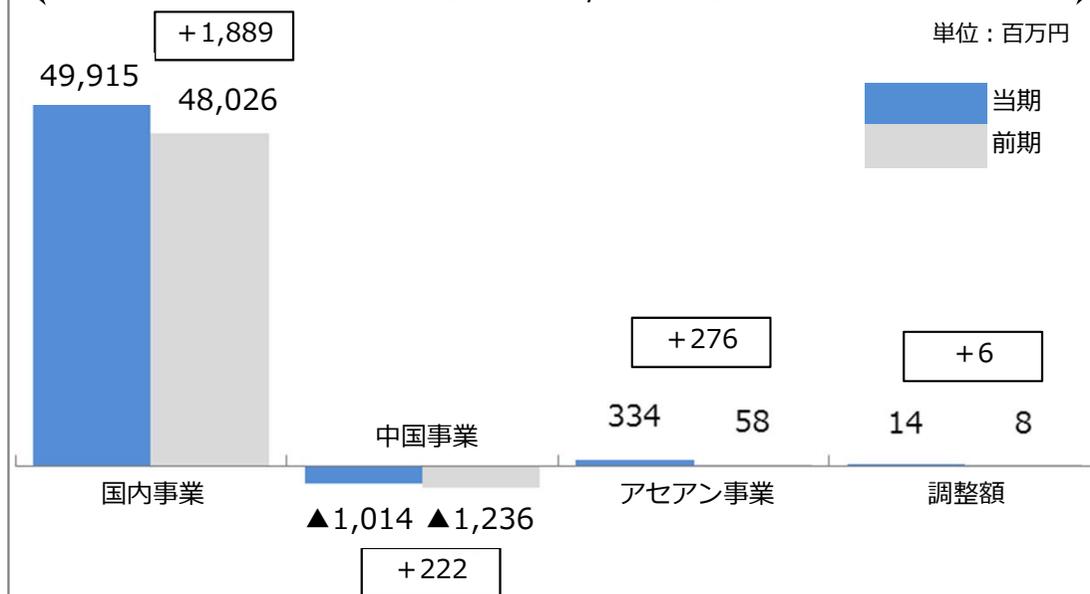
営業収益（+30,699百万円）

単位：百万円



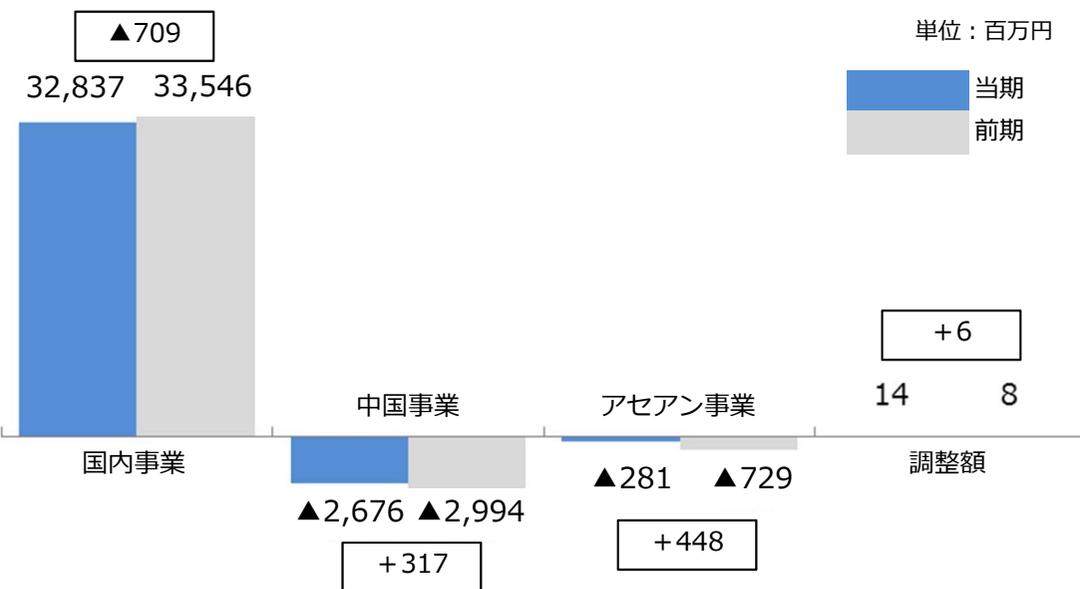
営業総利益（+2,394百万円）

単位：百万円



営業利益（+63百万円）

単位：百万円



海外事業

単位：百万円

	FY2016				前期比増減			
	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q
営業収益	18,659	6,410	5,910	6,337	8,245	3,420	2,518	2,306
営業総利益	▲679	▲387	▲197	▲94	499	▲73	219	352
営業利益	▲2,957	▲1,074	▲1,036	▲846	766	▲39	340	464

海外事業は、2016年度第2四半期より利益改善ステージとなり、第3四半期は改善幅が拡大。

損益計算書（要約）

（単位：百万円）

連結（百万円）	2017年2月期 第3四半期	比率	2016年2月期 第3四半期	比率	増減率	前年増減額	前期比増減要因
営業収益	198,403	100.0%	167,704	100.0%	118.3%	30,699	<ul style="list-style-type: none"> ・国内モール事業(国内新規6モール) +7,746百万円 ・国内モール事業(国内既存68モール) ▲3,411百万円 ・国内都市型ファッションビル事業(OPA) ※新規連結 +18,013百万円 ・国内その他 +106百万円 ・海外モール +8,245百万円
営業原価	149,152	75.2%	120,848	72.1%	123.4%	28,304	<ul style="list-style-type: none"> ・国内モール事業(国内新規6モール) +7,557百万円 ・国内モール事業(国内既存68モール) ▲2,851百万円 ・国内都市型ファッションビル事業(OPA) ※新規連結 +15,588百万円 ・国内その他 +270百万円 ・海外モール +7,746百万円 ・調整額 ▲6百万円
営業総利益	49,250	24.8%	46,856	27.9%	105.1%	2,394	<ul style="list-style-type: none"> ・国内モール事業(国内新規6モール) +188百万円 ・国内モール事業(国内既存68モール) ▲559百万円 ・国内都市型ファッションビル事業(OPA) ※新規連結 +2,424百万円 ・国内その他 ▲164百万円 ・海外モール +499百万円 ・調整額 +6百万円
販売費及び 一般管理費	19,356	9.7%	17,025	10.1%	113.7%	2,331	<ul style="list-style-type: none"> ・国内事業(新規連結OPA除く) +690百万円 ・国内事業(OPA) ※新規連結 +1,908百万円 ・海外事業 ▲266百万円
営業利益	29,893	15.1%	29,830	17.8%	100.2%	63	
営業外収益	2,995	1.5%	1,745	1.0%	171.6%	1,250	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金収入 +796百万円 ・為替差益 +445百万円 ・[前期] 為替ヘッジに伴うデリバティブ評価益 ▲227百万円 ・テナント受取退店違約金 +490百万円 ・受取利息 ▲146百万円
営業外費用	2,735	1.4%	3,466	2.0%	78.9%	▲730	<ul style="list-style-type: none"> ・支払利息 ▲42百万円 ・為替ヘッジに伴うデリバティブ評価損 +381百万円 ・[前期] 為替差損 ▲1,183百万円
経常利益	30,153	15.2%	28,109	16.8%	107.3%	2,043	
特別利益	41	0.0%	93	0.1%	44.4%	▲52	
特別損失	2,664	1.4%	2,771	1.7%	96.2%	▲106	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産除却損 +672百万円 ・[当期] 貸倒引当金繰入額 +675百万円 ・[当期] 閉店引当金(減損損失309、店舗閉鎖損失引当金343) +653百万円 ・[前期] 閉店引当金(減損損失686、店舗閉鎖損失引当金1,152) ▲1,838百万円
税金等調整前四半期純利益	27,530	13.8%	25,432	15.2%	108.2%	2,098	
法人税等	10,771	5.4%	11,611	7.0%	92.8%	▲840	
四半期純利益	16,758	8.4%	13,820	8.2%	121.3%	2,938	
非支配株主に帰属する 四半期純利益又は純損失	185	0.0%	▲1,124	▲0.7%	-	1,310	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16,572	8.4%	14,944	8.9%	110.9%	1,627	

※国内新規6モール(2015年オープン4モール、2016年オープン2モール)

貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

連結（百万円）	2017年2月期 第3四半期	2016年2月期	前期末比 増減額	主な増減要因
現金及び預金	49,420	55,375	▲ 5,955	
関係会社預け金	1,700	-	1,700	・イオングループ余資運用
その他	47,093	36,753	10,339	
流動資産	98,213	92,129	6,084	
有形固定資産	805,178	754,716	50,462	・有形固定資産の取得 +100,245百万円(OPA新規連結による増加+13,057百万円) ・減価償却費 ▲27,718百万円 他
無形固定資産	4,159	3,677	482	
投資その他の資産	129,118	124,447	4,670	・差入保証金 +9,948百万円(OPA新規連結による増加+9,858百万円)
固定資産	938,456	882,840	55,615	
資 産	1,036,670	974,970	61,700	
未払法人税	1,564	10,556	▲ 8,991	
専門店預り金	48,939	32,643	16,296	
設備未払金	50,650	78,886	▲ 28,236	
その他	160,681	89,311	71,370	・短期借入金 +29,315百万円 ・コマーシャルペーパー +30,000百万円 ・1年内償還予定の社債 +9,800百万円 ・1年内返済予定の長期借入金 +4,242百万円
流動負債	261,835	211,398	50,437	
固定負債	450,651	423,722	26,928	・社債 +25,000百万円 ・長期借入金 ▲6,046百万円 ・預り保証金 +6,937百万円
負 債	712,486	635,120	77,365	
純資産	324,183	339,849	▲ 15,665	
自己資本比率	30.7%	34.2%	▲3.5%	

自己資本	318,320	333,547	▲ 15,226
有利子負債	426,718	334,406	92,311
有利子負債比率	41.2%	34.3%	6.9%
デット・エクイティ・レシオ(倍)	1.3	1.0	0.3
ネット・デット・エクイティ・レシオ(倍)	1.2	0.8	0.4

【有利子負債増減】

（単位：百万円）

	2017年2月期 第3四半期	2016年2月期	前期末比 増減額
短期借入金	37,655	8,339	29,315
コマーシャル・ペーパー	30,000	-	30,000
1年内償還予定の社債	10,000	200	9,800
1年内返済予定の長期借入金	42,827	38,585	4,242
社 債	120,000	95,000	25,000
長期借入金	186,235	192,281	▲ 6,046
合 計	426,718	334,406	92,311

キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

連結（百万円）	2017年2月期 第3四半期	2016年2月期 第3四半期	前年増減額	2017年2月期第3四半期の主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	49,971	46,676	3,295	<ul style="list-style-type: none"> ・ 税金等調整前四半期純利益 +27,530百万円 ・ 減価償却費 +28,482百万円 ・ 専門店売上預り金 +16,318百万円 ・ 法人税等の支払額 ▲19,786百万円 ・ その他 ▲2,573百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 123,070	▲ 126,687	3,617	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有形固定資産の取得 ▲119,755百万円 ・ 長期前払費用の取得 ▲1,727百万円 (海外土地使用权等) ・ 預り保証金の増加(NET) +213百万円 他 <div style="margin-left: 150px;">} ※設備投資121,482百万円</div>
財務活動による キャッシュ・フロー	75,050	76,627	▲ 1,576	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの純増 +47,476百万円 ・ 長期借入金による収入 +25,762百万円 ・ 社債発行による収入 +35,000百万円 ・ 長期借入金の返済による支出 ▲27,128百万円 ・ 配当金の支払額 ▲5,546百万円
現金及び現金同等物 期末残高	48,864	62,447	▲ 13,583	

2016年GRESBリアルエステイト評価「Green Star」評価を獲得

2016年GRESBリアルエステイト評価において「Green Star」評価を取得

- ▶ 環境配慮やサステナビリティへの取り組みに関して、「マネジメントと方針」および「実行と計測」の両面において優れていると高く評価され、4つのランク分けされる中で最高位の「Green Star」評価を獲得。
- ▶ 参加した会社・ファンド全体の平均スコアが60点の中、当社は過去最高の79点（昨年度は73点）を取得、グローバル733社中108位（昨年度は688社中126位）。
- ▶ 同時に、総合スコアでの相対評価による「GRESBレーティング」においても、最上位の「5スター」評価を獲得。



同調査において、環境保全や社会貢献と経済的利益の両立に向けたサステナビリティに関する取り組みとして、「イオンモール堺鉄砲町における日本初となる下水再生水複合利用モデル構築事業」および「次世代対応店舗『防災対応型スマートイオン』」を中心としたコミュニティ・まちづくりの為の複合的な取り組みが、優れたイノベーション・ケーススタディに採用。



イオンモール堺鉄砲町
下水再生水複合利用モデル

イオンモール沖縄ライカム 2016年アジア太平洋ショッピングセンターアワード 銀賞受賞

イオンモール沖縄ライカムが、2016年アジア太平洋ショッピングセンターアワードのデザイン開発・新規開発部門において銀賞を受賞

※アジア太平洋ショッピングセンターアワード

国際ショッピングセンター協会が設けた、アジア地域において商業施設を表彰するもの。施設のデザインや開発計画だけでなく、開業後の施設運営・業績などを含めて総合的に評価。



イオンモール多摩平の森 ABINC特別賞受賞

イオンモール多摩平の森が、ABINC特別賞を受賞

事業的な制約がある中で実施された取り組み（丘の原っぱ、雨の庭など）が大型商業施設における生物多様性保全の可能性に取り組んだパイオニア的な事例として評価。



丘の原っぱ

イオンモール幕張新都心 CASBEE不動産取得

イオンモール幕張新都心が、4つの施設棟すべてにおいてCASBEE不動産Sランクを取得



＜評価内容＞

再生エネルギーの採用、主要な環境性能評価認証取得への取り組み、LED器具の採用及びコジェネレーションシステム導入等、先進的な取り組みを積極的に行い、従来建物と比較して大幅なエネルギー消費の抑制・CO2排出抑制を達成。



多様な価値観を持った人材からなる組織構築により、多様な視点での企業価値を創出

多様な人材が活躍できる企業へ

出店数の拡大などにより、過去数年にわたって、当社の従業員は大幅に増加しています。国籍・性別を問わず、さまざまな背景を持った人材が共通の価値観のもとで働くことができる環境の整備に、今後いっそう注力していきます。

人材のグローバル化の推進

海外で展開するショッピングモールについては、現地の人材が責任者となって、各国の言語や慣習に基づいて当社の理念を地域に根づかせる方針としています。中国およびアセアンに設立された現地法人やモールでは約780名のローカルスタッフがイオングループの一員として活躍しており、日本国内のモールで短期研修を行うなど人的交流も行っています。

LGBTに関する研修を実施

イオングループが毎年実施している「イオン行動規範研修」の中で、2015年度よりLGBT（性的マイノリティ）に関するプログラムを新たに開始しました。従業員が研修を受講することでLGBTへの理解を深め、職場のあり方について議論しました。イオン行動規範研修を通して、すべての従業員が生き活きと働き続けられる職場づくりに取り組んでいます。

「イオンゆめみらい保育園 名取」を開園 グループ初の「企業主導型保育事業」に認定

イオンモール名取に、イオンゆめみらい保育園を開園（2016年11月18日）

イオングループで初めて、内閣府が推進する「企業主導型保育事業」に認定

企業主導型保育事業

企業主導型の事業所内保育事業を主軸として、多様な就労形態に対応する保育サービスの拡大を行い、保育所待機児童の解消を図り、仕事と子育てとの両立に資することを目的として実施。

■イオングループ 事業所内保育所の設置状況（2016年12月末現在）

- ・イオンモール幕張新都心（千葉市認可）
- ・イオンモール沖縄ライカム（北中城村認可）
- ・イオンモール常滑（2017年4月常滑市認可予定）
- ・イオンスタイル湘南茅ヶ崎（茅ヶ崎市認可）
- ・イオンレイクタウンmorri（越谷市認可）
- ・イオンモール佐賀大和（佐賀市認可）
- ・イオンモール名取（企業主導型保育事業）
- ・イオンモール名古屋茶屋（企業主導型保育事業）
- ・イオンモール長久手（企業主導型保育事業）
- ・イオンモール水戸内原（企業主導型保育事業 ※申請中）

※その他、一般の保育事業者との利用提携による施設2ヶ所



「イオンゆめみらい保育園」の選定基準

- ①イオングループ従業員が利用できる枠がある
- ②モールの営業時間に合わせて原則無休で開園する
- ③0歳から就学前の子どもが預けられる
- ④認可を受けている、もしくは認可基準で運営している

2016年度（2017年2月期）業績予想

	金額	前期比
営業収益	2,800 億円	121.9 %
営業利益	465 億円	106.0 %
経常利益	450 億円	106.1 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	270 億円	109.6 %

設備投資額	1,500 億円
減価償却費	400 億円

利益配分

＜基本方針＞

- ・株主の皆さまへの安定的な配当継続を重視
- ・内部留保金は事業基盤強化のための成長事業、新規事業、経営体質強化のために投資
- ・配当性向は年間20%以上

2016年度は、1株につき5円増配の27円を予定

年 度	1株当たり配当金			配当性向
	中間	期末	年間	
2014	11.00 円	11.00 円	22.00 円	20.4 %
2015	11.00 円	11.00 円	22.00 円	20.3 %
2016	13.50 円	13.50 円	27.00 円	22.7 %

本資料に記載されている内容及び業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後の出店計画

開示済新規出店計画一覧（2017年度以降）

	モール名称	所在地	オープン	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数
2017年度	イオンモール新小松	石川県小松市	2017年春	約 128,000 m ²	約 60,000 m ²	約 3,200 台
	(仮称) 水戸オーパ (マスターリース)	茨城県水戸市	2017年春	約 3,500 m ²	約 12,500 m ²	未公表
	イオンモール徳島	徳島県徳島市	2017年春	約 49,900 m ²	約 50,000 m ²	約 2,800 台
	(仮称) SENRITOよみうりⅡ期 (マスターリース)	大阪府豊中市	2017年春	約 12,200 m ²	約 9,100 m ²	未公表
	イオンモール神戸南	兵庫県神戸市	2017年6月	約 37,000 m ²	約 38,000 m ²	約 1,300 台
	(仮称) 高崎オーパ	群馬県高崎市	2017年秋	約 7,400 m ²	約 26,000 m ²	未公表
	イオンモール松本	長野県松本市	2017年秋	約 62,500 m ²	約 49,000 m ²	約 2,000 台

	モール名称	所在地	オープン	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数
2018年度	(仮称) イオンモール座間	神奈川県座間市	2018年春	約 58,000 m ²	約 50,000 m ²	約 2,500 台
	(仮称) イオンモールいわき小名浜	福島県いわき市	2018年夏	約 44,400 m ²	約 50,200 m ²	未公表
	(仮称) イオンモール平塚	神奈川県平塚市	2018年度	約 126,000 m ²	未公表	未公表
2019年度	(仮称) イオンモール土岐	岐阜県土岐市	2019年度	約 200,000 m ²	未公表	約 4,800 台
	(仮称) イオンモール上尾	埼玉県上尾市	2019年度	約 71,800 m ²	未公表	未公表

※ リリースしている新規物件のみを記載しています。

海外事業 中国（北京・天津、江蘇・浙江エリア）出店計画

北京・天津エリア

<北京エリアにおける出店>



<山東省における出店>



<天津エリアにおける出店>



	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール北京国際商城	2008年11月7日	89,000 m ²	53,000 m ²	3,000 台	120 店舗
イオンモール北京豊台	2015年9月19日	63,800 m ²	58,000 m ²	2,000 台	180 店舗
イオンモール河北燕郊	2016年11月5日	87,000 m ²	70,000 m ²	3,000 台	200 店舗
イオンモール煙台金沙灘	2018年度	約 111,000 m ²	約 79,000 m ²	約 2,800 台	未公表

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール天津TEDA	2010年10月29日	98,000 m ²	55,000 m ²	2,500 台	130 店舗
イオンモール天津中北	2012年4月28日	163,000 m ²	62,000 m ²	3,700 台	150 店舗
イオンモール天津梅江	2014年1月3日	75,300 m ²	63,000 m ²	2,400 台	170 店舗
イオンモール天津津南	2017年度	約 91,000 m ²	約 77,000 m ²	未公表	約 230 店舗

江蘇・浙江エリア



<江蘇省における出店>

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール蘇州吳中	2014年4月25日	114,000 m ²	75,000 m ²	3,100 台	190 店舗
イオンモール蘇州園區湖東	2015年5月29日	99,300 m ²	75,000 m ²	3,000 台	220 店舗
イオンモール蘇州新区	2016年1月15日	139,000 m ²	74,000 m ²	3,200 台	280 店舗
イオンモール南通星湖	2017年度下期	約 113,200 m ²	約 84,000 m ²	約 2,800 台	未公表

<浙江省杭州市における出店>

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール杭州良渚新城	2015年11月27日	98,000 m ²	66,000 m ²	2,500 台	180 店舗

湖北エリア

イオンモール武漢金銀潭



(仮称)イオンモール武漢石橋
(オープン予定)

イオンモール武漢経開

イオンモール武漢経開



武漢市南西部で都市開発が進む「経済技術開発区」において、総賃貸面積10万㎡を超える中国におけるフラッグシップモール。

(仮称)イオンモール武漢石橋

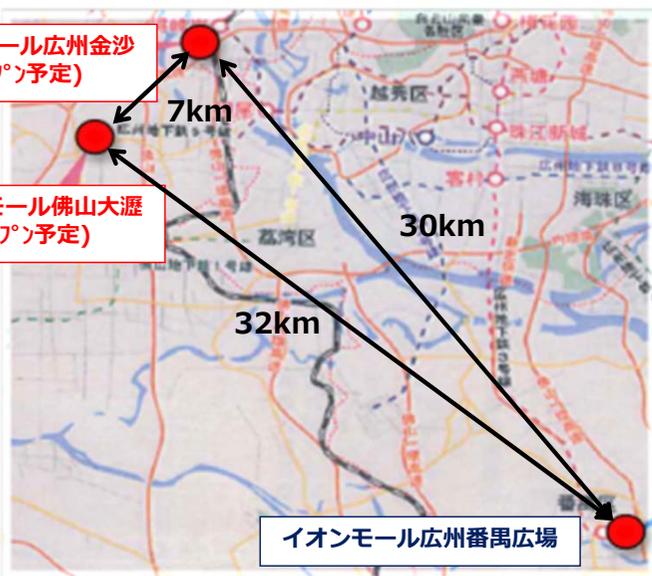


武漢市の商業中心である漢口北部に位置し、周辺は高層住宅が多数建設中であり、漢口エリア中心部のベッドタウンとして成長が見込まれるエリア。

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール武漢金銀潭	2014年12月19日	88,000 ㎡	74,000 ㎡	2,900 台	200 店舗
イオンモール武漢経開	2015年12月10日	130,000 ㎡	105,000 ㎡	4,000 台	300 店舗
(仮称)イオンモール武漢石橋	2017年度	約 46,200 ㎡	未公表	約 1,900 台	未公表

広東エリア

イオンモール広州金沙
(オープン予定)



イオンモール佛山大滘
(オープン予定)

イオンモール広州番禺広場

イオンモール広州番禺広場



広州市中心部から南へ約20km、約170万人の人口を有する番禺区に出店するもので、エリア最先端のトレンドを発信する都市型モール。

イオンモール佛山大滘



イオンモール広州金沙



	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール広州番禺広場	2015年12月31日	51,400 ㎡	64,500 ㎡	1,700 台	170 店舗
イオンモール佛山大滘	2017年度	約 83,200 ㎡	未公表	約 3,200 台	未公表
イオンモール広州金沙	2018年度	約 84,500 ㎡	未公表	約 3,600 台	未公表

ベトナム

<ハノイエリア>



イオンモール ロンビエン
(ハノイ市ロンビエン区)



オープン日	2015年10月28日
敷地面積	96,000 m ²
総賃貸面積	72,000 m ²
駐車台数	車 1,000 台 バイク 10,000 台
専門店数	180 店舗

<ホーチミンエリア>



イオンモール ビンタン (ホーチミン市ビンタン区)

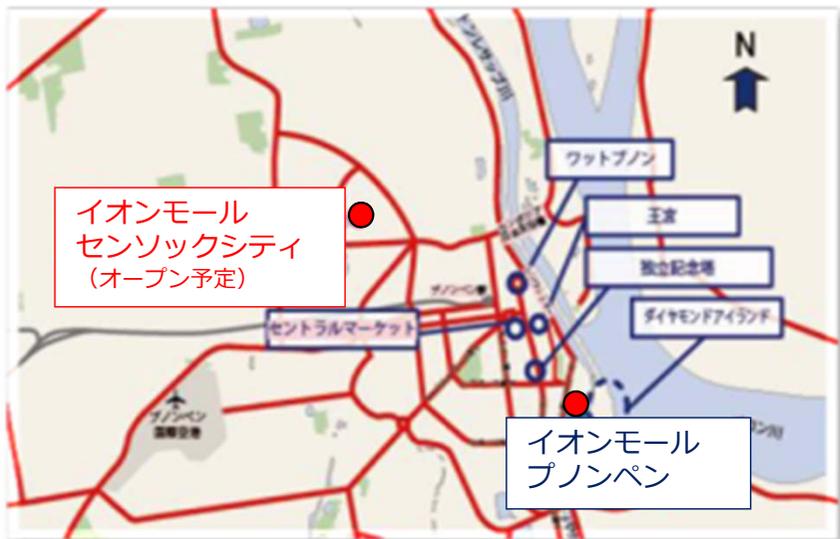


計画地は、ホーチミン市中心地から南西約10 kmのビンタン区に位置し、ホアラム-シャングリラ社が総合開発する「インターナショナル ハイテク ヘルスケア パーク」内に立地。今後交通環境整備も進み、広域集客が可能な立地。

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール タンフーセラドン	2014年1月11日	35,100 m ²	47,000 m ²	車 500 台 バイク 4,000 台	120 店舗
イオンモール ビンズオンキャナリー	2014年11月1日	62,000 m ²	49,000 m ²	車 1,000 台 バイク 6,000 台	150 店舗
イオンモール ビンタン	2016年7月1日	46,800 m ²	60,000 m ²	車 1,500 台 バイク 4,000 台	160 店舗

カンボジア

<カンボジアでの出店計画>



イオンモール プノンペン



オープンから1年の来店客数が1,500万人を突破

立体駐車場800台を増設

イオンモール センソックシティ

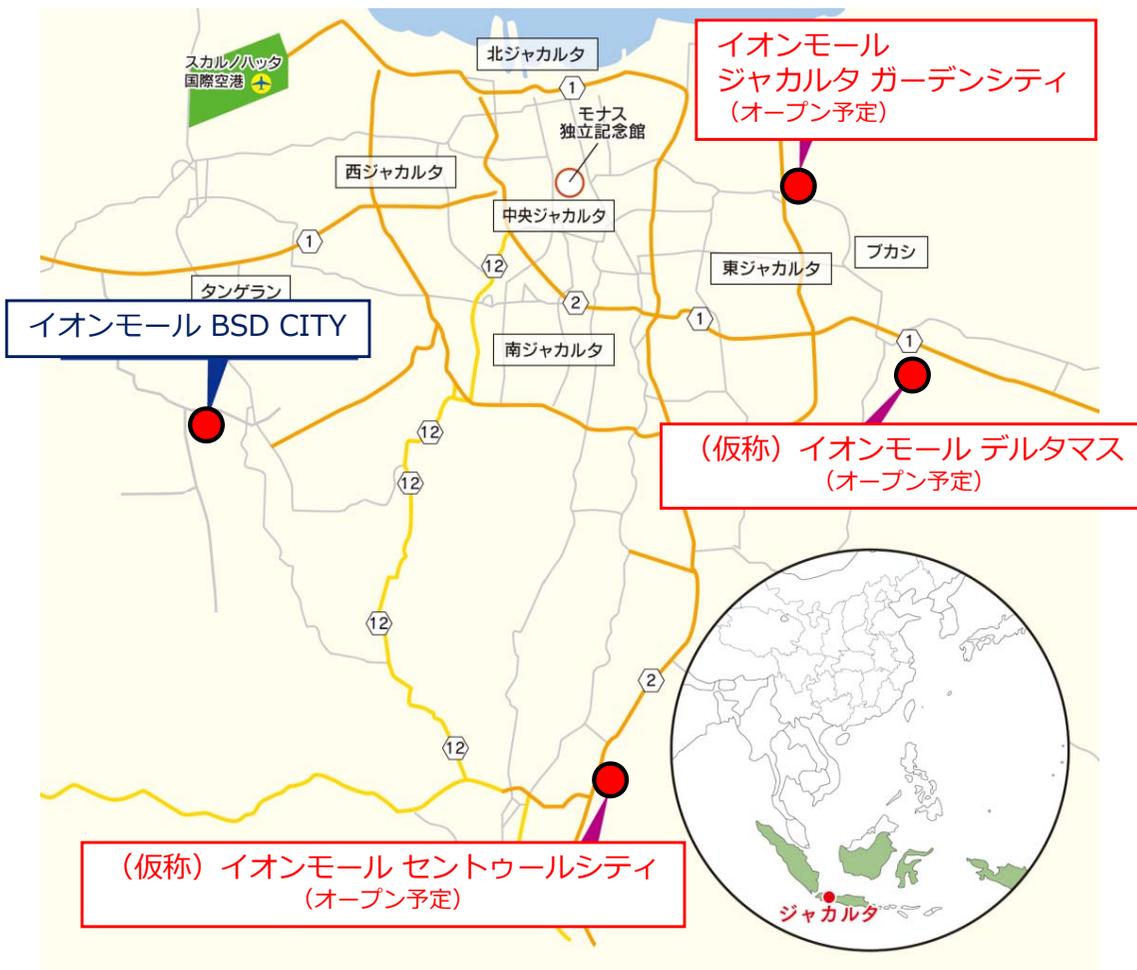


プノンペン中心部から北部約10kmに位置。計画地周辺は住宅開発が進んでおり、近隣だけでなくプノンペン中心部からのアクセスも良好な立地。



	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店舗数
イオンモール プノンペン	2014年6月30日	68,000 m ²	66,000 m ²	車 2,300 台 バイク 1,600 台	190 店舗
イオンモール センソックシティ	2018年夏	約 100,000 m ²	約 80,000 m ²	車 約 2,500 台 バイク 約 2,000 台	約 200 店舗

インドネシア



イオンモールBSD CITY



イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ



(仮称) イオンモール セントウルシティ



	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモールBSD CITY	2015年5月30日	100,000 m ²	77,000 m ²	車 2,100 台 バイク 2,300 台	280 店舗
イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ	2017年度	約 85,000 m ²	約 60,000 m ²	車 約 3,000 台	約 200 店舗
(仮称)イオンモール セントウルシティ	2018年度	約 78,000 m ²	約 71,000 m ²	車 約 3,000 台	約 250 店舗
(仮称)イオンモール デルタマス	2018年度	約 200,000 m ²	未公表	未公表	未公表

本資料に記載されている内容及び業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料 (モールデータ)

モール一覧①

ショッピングモール（国内）

	モール名称	オープン日	総賃貸面積 (㎡)	駐車場台数	専門店数	土地／建物 所有	土地賃借／ 建物所有	土地／建物 賃借	PM受託
1	イオンモール川口	1984年 4月	34,000	1,300	90			◎	
2	ならファミリー	1992年11月	83,000	2,000	120				◎
3	イオンモールつがる柏	1992年11月	40,000	2,600	90	◎			
4	イオンモール秋田	1993年 9月	58,000	3,200	150	◎			
5	イオンモール富津	1993年 9月	28,000	1,400	90	◎			
6	イオンモール下田	1995年 4月	59,000	4,000	120	◎			
7	ショッピングモールフェスタ	1996年 4月	32,000	3,800	90	◎			
8	イオンモール鈴鹿	1996年11月	70,000	4,200	180			☆	
9	イオンモール三光	1996年12月	40,000	2,500	70	◎			
10	イオンモール宇城	1997年11月	63,000	3,300	100			☆	
11	イオンモール倉敷	1999年 9月	83,000	4,700	210			☆	
12	イオンモール成田	2000年 3月	65,000	4,000	170	◎			
13	イオンモール岡崎	2000年 9月	80,000	4,300	170		◎		
14	イオンモール川口前川	2000年11月	66,000	2,400	170			◎	
15	イオンモール高知	2000年12月	57,000	3,100	140			◎	
16	イオンモール新居浜	2001年 6月	67,000	3,400	120		◎		
17	イオンモール東浦	2001年 7月	55,000	5,000	110			☆	
18	イオンモール大和	2001年12月	35,000	1,900	90			☆	
19	イオンモール高岡	2002年 9月	62,000	3,600	130		◎		
20	イオンモール伊丹	2002年10月	57,000	2,800	150			☆	
21	イオンモール盛岡	2003年 8月	52,000	2,600	130			☆	
22	イオンモール太田	2003年12月	62,000	4,200	150			☆	
23	イオンモール京都五条	2004年 3月	36,000	1,700	140			◎	
24	イオンモール広島府中	2004年 3月	98,000	5,000	280			◎	
25	イオンモール橿原	2004年 4月	80,000	5,000	230		◎		
26	イオンモール木曽川	2004年 6月	66,000	4,400	160			◎	
27	イオンモール福岡	2004年 6月	90,000	5,200	200			☆	
28	イオンモール浜松志都呂	2004年 8月	65,000	3,500	160			☆	
29	イオンモール堺北花田	2004年10月	72,000	2,800	160			☆	
30	イオンモールりんくう泉南	2004年11月	76,000	4,300	170		◎		
31	イオンモール直方	2005年 4月	58,000	3,400	140			☆	
32	イオンモール宮崎	2005年 5月	70,000	4,000	180		◎		
33	イオンモール熊本	2005年10月	73,000	4,500	160			☆	
34	イオンモール水戸内原	2005年11月	78,000	4,500	200			☆	
35	イオンモール千葉ニュータウン	2006年 4月	79,000	4,000	180			☆	
36	イオンモール高崎	2006年10月	59,000	3,700	170		◎		
37	イオンモールむさし村山	2006年11月	78,000	4,000	180			☆	
38	イオンモール鶴見緑地	2006年11月	53,000	2,200	160			☆	
39	イオンモール神戸北	2006年11月	55,000	4,000	160			☆	
40	イオンモール名取	2007年 2月	67,000	3,900	170		◎		
41	イオンモール羽生	2007年11月	75,000	5,000	210		◎		
42	イオンモール日の出	2007年11月	64,000	3,600	160		◎		
43	イオンレイクタウンKaze	2008年10月	61,000	2,300	230			◎	
44	イオンモール草津	2008年11月	78,000	4,500	190		◎		
45	イオンモール筑紫野	2008年12月	80,000	3,800	210		◎		
46	イオンモール都城駅前	2008年12月	28,000	1,700	100	◎			
47	mozo wondercity	2009年 4月	101,000	5,000	230				◎
48	イオンモール広島祇園	2009年 4月	50,000	2,800	130		◎		
49	イオンモール新瑞橋	2010年 3月	38,000	1,700	120			◎	
50	イオンモール大和郡山	2010年 3月	67,000	4,100	170			☆	

☆流動化案件

モール一覧②

	モール名称	オープン日	総賃貸面積 (㎡)	駐車場台数	専門店数	土地/建物 所有	土地賃借/ 建物所有	土地/建物 賃借	PM受託
51	イオンモールKYOTO	2010年 6月	51,000	1,100	130			☆	
52	イオンモール甲府昭和	2011年 3月	45,000	2,500	130			☆	
53	イオンモール大牟田	2011年 3月	57,000	4,800	130	◎			
54	広島段原ショッピングセンター	2011年 9月	24,000	800	60			◎	
55	イオンモール福津	2012年 4月	61,000	3,500	190	◎			
56	ショッピングセンター ソヨカ ふじみ野	2012年 6月	9,400	400	40				◎
57	イオンモールつくば	2013年 3月	64,000	4,000	200		◎		
58	イオンモール春日部	2013年 3月	56,000	2,900	180		◎		
59	神戸ハーバーランド umie(ウミエ)	2013年 4月	85,000	3,000	225				◎
60	イオンモール東員	2013年11月	58,000	3,500	155		◎		
61	イオンモール幕張新都心	2013年12月	128,000	7,300	360		◎		
62	イオンモール天童	2014年 3月	47,000	3,000	130		◎		
63	イオンモール和歌山	2014年 3月	69,000	3,500	210	◎			
64	イオンモール名古屋茶屋	2014年 6月	75,000	4,100	200		◎		
65	イオンモール京都桂川	2014年10月	77,000	3,100	220			◎	
66	イオンモール木更津	2014年10月	84,000	4,000	160		◎		
67	イオンモール多摩平の森	2014年11月	24,000	1,000	130		◎		
68	イオンモール岡山	2014年12月	92,000	2,500	350			◎	
69	イオンモール旭川駅前	2015年 3月	29,000	900	130			◎	
70	イオンモール沖縄ライカム	2015年 4月	78,000	4,000	230		◎		
71	イオンモール四條畷	2015年10月	75,000	4,100	200		◎		
72	イオンモール常滑	2015年12月	83,000	4,200	180		◎		
73	イオンモール堺鉄砲町	2016年 3月	56,000	2,600	160		◎		
74	イオンモール今治新都市	2016年 4月	54,000	2,900	120	◎			
国内 計			4,624,400	248,600	12,010	12	25	33	4

※上記以外にイオンリテール(株)の商業施設71施設(GLA 2,820,000㎡、専門店数8,200)の管理・運営を受託しております。

☆流動化案件

※2016年3月1日付にて大津ショッピングプラザ(土地・建物)を、核店舗として出店しているイオン九州(株)に売却いたしました。

※イオンモール寝屋川は2016年8月31日をもって一旦営業を終了致しました。

ショッピングモール(海外)

	モール名称	オープン日	総賃貸面積 (㎡)	駐車場台数	専門店数	土地/建物 所有	土地賃借/ 建物所有	土地/建物 賃借	PM受託
75	イオンモール北京国際商城(中国)	2008年11月	53,000	3,000	120			◎	
76	イオンモール天津TEDA(中国)	2010年10月	55,000	2,500	130			◎	
77	イオンモール天津中北(中国)	2012年 4月	62,000	3,700	150			◎	
78	イオンモール天津梅江(中国)	2014年 1月	63,000	2,400	170			◎	
79	イオンモール蘇州吳中(中国)	2014年 4月	75,000	3,100	190			◎	
80	イオンモール武漢金銀潭(中国)	2014年12月	74,000	2,900	200			◎	
81	イオンモール蘇州園区湖東(中国)	2015年 5月	75,000	3,000	220	◎			
82	イオンモール北京豊台(中国)	2015年 9月	58,000	2,000	180			◎	
83	イオンモール杭州良渚新城(中国)	2015年11月	66,000	2,500	180	◎			
84	イオンモール武漢經開(中国)	2015年12月	105,000	4,000	300	◎			
85	イオンモール広州番禺広場(中国)	2015年12月	65,000	1,700	170			◎	
86	イオンモール蘇州新区(中国)	2016年 1月	74,000	3,200	280			◎	
87	イオンモール河北燕郊(中国)	2016年11月	70,000	3,000	200			◎	
88	イオンモール タンフーセラドン(ベトナム)	2014年 1月	47,000	500	120				◎
89	イオンモール ビンズオンキャナリー(ベトナム)	2014年11月	49,000	1,000	150			◎	
90	イオンモール ロンビエン(ベトナム)	2015年10月	72,000	1,000	180	◎			
91	イオンモール ビンタン(ベトナム)	2016年 7月	60,000	1,500	160			◎	
92	イオンモール プノンベン(カンボジア)	2014年 6月	66,000	2,200	190	◎			
93	イオンモール B S D C I T Y(インドネシア)	2015年 5月	77,000	2,100	280	◎			
海外 計			1,266,000	45,300	3,570	6	0	12	1
合 計			5,890,400	293,900	15,580	18	25	45	5

※2016年11月30日現在

都市型ファッションビル (株式会社OPA)

	モール名称	オープン日	総賃貸面積 (㎡)	専門店数
1	大宮オーパ	2007年 3月	2,830	30
2	聖蹟桜ヶ丘オーパ	1999年 9月	16,060	57
3	新百合丘オーパ	1997年11月	12,140	98
4	藤沢オーパ	1996年 3月	8,960	65
5	河原町オーパ	1998年11月	9,790	101
6	梅田オーパ	2013年 4月	2,170	19
7	心斎橋オーパ	1994年11月	10,490	135
	オーパきれい館	1998年 8月	2,310	心斎橋オーパに含む
8	三宮オーパ	1995年10月	3,340	71
9	キャナルシティオーパ	1996年 4月	13,350	124
10	ビブレジーンレイクタウン	2008年 9月	2,880	22
11	横浜ビブレ	1978年10月	17,770	137
12	ワールドポーターズビブレ	1999年 9月	18,110	93
13	名古屋ワンダーシティビブレ	2009年 4月	2,730	10
14	北大路ビブレ	1995年 3月	22,130	92
15	三宮ビブレ	1969年11月	5,630	34
16	明石ビブレ	1997年10月	16,350	70
17	天神ビブレ	1976年11月	9,790	74
18	秋田フォーラス	1987年12月	11,020	58
19	仙台フォーラス	1984年11月	14,560	105
20	金沢フォーラス	2006年11月	26,070	197
21	大分フォーラス	1993年10月	9,650	42
都市型ファッションビル 計			238,130	1,634

※大宮オーパは2017年1月29日をもって閉店。

※大分フォーラスは2017年2月26日を閉店。2019年春「OPA」ブランドにて新規オープン予定。

※秋田フォーラスは2017年2月でいったん休業し、2017年10月下旬に「OPA」ブランドにて再開予定。